

令和3年度 東京都立山崎高等学校 学校経営計画

目指す学校			
「学習・行事・部活、すべての体験から進路実現へ」をスローガンとして、高い意欲と使命感をもった教職員の協働体制のもと、本校の教育目標である克己（自分のもつ弱さを克服する力）、高志（自分を高めようとする意志）、敬愛（お互いを大事にする優しさ）、協働（協力し合い助け合う姿勢）を生徒に身に付けさせるとともに、きめ細かな教育活動を通して生徒の進路希望の実現を図り、国際社会で活躍することができる豊かな教養と人間性を育成する学校づくりを目指す。			
	中期的目標と方策	今年度の取組目標と具体的方策	関連する数値目標等
1 学習指導	<p>1 生徒の学力を伸ばすための授業改善・授業力向上を図る。</p> <p>2 教科マネジメントを確立し、教科として3年間を見据えた指導法を確立し、組織的に生徒の学力向上を図る。</p> <p>3 新学習指導要領の実施に向け、カリキュラム・マネジメントを徹底し、すべての教育活動の質の向上を目指すための準備を進める。また教育のデジタル化を推進していく。</p>	<p>(1) 基礎基本の定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学び（分かる授業、さらに学びたくなる授業、考えさせ表現させる授業、双方向型のやり取りのある授業、学んだことが深まりつながっていく授業等）の授業を実践する。</p> <p>(2) 学力スタンダードに基づき、教科会を中心に生徒の学力を客観的に把握し、日常の授業（習熟度別授業）や補習・講習を通して、生徒の学力を引き上げ、定期考査や評価に反映させていく。</p> <p>(3) 教科で組織的に、補習・講習を計画するとともに、資格取得（漢検・英検）や実力テストに向けて継続的な指導を行う。</p> <p>(4) 各教科で学んだことを定着させるために、授業外の学習時間を伸ばす工夫を行う。</p> <p>(5) 「主体的な学びにつながるよりよい授業づくり」を目指すために、オンライン授業等の研修も含め校内研修会を実施する。</p> <p>(6) 新学習指導要領に向けて、教育課程編成等の準備や研修会を実施する。</p>	<p>①生徒による授業満足度 75%以上</p> <p>②習熟度別授業の満足度 75%以上</p> <p>③日常の補習・講習及び長期休業中の講習の講座数の増加</p> <p>④漢検・英検の資格取得者（合格者）の増加</p> <p>⑤実力テスト（国・数・英）における平均点の向上</p> <p>⑥教員同士の相互授業見学（年2回以上）の実施率 85%以上</p> <p>⑦生徒の授業外の学習時間の向上</p> <p>⑧ICT やオンライン（Teams）等を活用した授業実践の向上</p>
2 進路指導	<p>1 最後まであきらめずに第一希望の進路実現を果たすための支援を行う。</p> <p>2 3年間を見据えた（キャリア教育の全体計画）組織的な進路体制の実践。</p> <p>3 インターシップや地域の人材を活用した交流など様々な進路行事を通して、自己の役割や責任感を果たすことにより、生徒の健全な勤労観と自己肯定感を育成する。</p>	<p>(7) 生徒一人一人の個性や能力が発揮できるように、適切な進路選択に向け組織的な指導を行う。</p> <p>(8) 進路指導部と学年、教科の連携を密にし、保護者・生徒に適切でタイムリーな進路情報を提供する。</p> <p>(9) 教職員による進路情報・生徒情報（実力テスト分析会などを通して）のデータを共有し、日常の授業、補習・講習に生かす。</p> <p>(10) 1学年インターシップ、2学年自立支援プログラム、3学年就職ガイダンス、専門学校研修会、進路系別説明会等の内容を充実させる。</p>	<p>⑨進路決定率 90%以上</p> <p>⑩進路指導充実率（生徒・保護者・教員とも）80%以上</p> <p>⑪難関私大やGMARCHレベルの大学合格者3名以上</p> <p>⑫日東駒専レベルの大学合格者5名以上</p> <p>⑬進路便りの発行年6回以上</p> <p>⑭全学年個人面談・三者面談の実施</p>
3 生活指導	<p>1 生徒に寄り添い向き合う指導を通じて、規範意識を身に付け、自律的な生活態度の育成を図る。</p> <p>2 生命を大切にし、お互いを尊重する意識を醸成し、暴力やいじめのない安全安心な学校づくりを目指す。</p> <p>3 安全な教育環境づくりと校内美化活動を徹底し、より良い環境づくりを目指す。</p>	<p>(11) 全教職員が一致した指導を組織的にを行い、HR、授業、部活動、各集会等あらゆる教育活動を通じて、生命の大切さ・基本的生活習慣（挨拶の励行）やルールやマナー・SNSルール等を身に付けさせ、自ら考え行動できる自主性を育む指導を行う。</p> <p>(12) 暴力、いじめ、窃盗等の問題行動に対して厳格に臨むとともに、スクールカウンセラー等の専門家や関係機関と連携しながら未然防止、早期発見、早期対応に向け組織的な取組を行う。</p> <p>(13) 経営企画室と連携して、安全管理・環境美化に努めるとともに、生徒会活動の中で生徒が主体となって校外の美化活動に努める。</p>	<p>⑮生徒指導のルールやマナーの遵守率 90%以上</p> <p>⑯チャイム着席や授業態度等の授業規律の遵守率 90%以上</p> <p>⑰通学のルールの遵守率 90%以上</p> <p>⑱SNSの使用法や情報モラルの理解と遵守率 90%以上</p> <p>⑲いじめや自殺防止等への取組評価 80%以上</p> <p>⑳清掃美化活動の実施率 90%以上</p> <p>㉑生徒会等による挨拶運動の実施</p> <p>㉒下校時間や活動時間の遵守</p>
4 特別活動・部活動・健康づくり	<p>1 生徒同士が協働し、相互に高め合う集団づくりを行い、学校への帰属意識を高め、学校行事の更なる充実を図る。</p> <p>2 部活動の活性化を図り、生徒の主体的な参加を通じてスポーツや文化活動に親しみ、オリンピック・パラリンピック教育を推進する。またスポーツ特別強化校としてアーチェリー部の指導体制、競技力を強化する。</p> <p>3 体力向上・健康づくりの取組を活性化する。</p> <p>4 読書活動の取組を推進する。</p>	<p>(14) 学校行事のねらいを達成するとともに、行事を通じて生徒に成就感や達成感を体験させ、生涯にわたってスポーツや文化・芸術等に親しむ素地を養う。</p> <p>(15) 部活動の加入の奨励と部活動を継続させる働きかけを行い、部活加入率の維持向上を図る。また、部活動に関する活動方針に基づき、チームワークづくりを重視し、学年を超えて生徒同士が高めあう集団づくりを行うことができるよう指導していく。</p> <p>(16) 体育の授業、部活動、体育的 school 行事等を通じて、健康づくりの基礎知識や基礎体力向上のための習慣を身に付けさせ、生徒の心身の健康づくりのための相談・支援体制を強化する。またオリンピック・パラリンピック教育を推進し、国際理解やスポーツへの興味・関心を増幅させレガシーを構築していく。</p> <p>(17) 教育相談を充実させ、合理的配慮を必要とする生徒への支援を行うとともに、相談しやすい体制や環境づくりを行う。</p> <p>(18) 図書館の積極的利用等を通じて、読書活動の取組を強化する。</p>	<p>㉓学校生活の充実度 80%以上</p> <p>㉔学校行事の充実度 80%以上</p> <p>㉕部活動の充実度 80%以上 1年生の部活動加入率年度末 80%以上（全校部活動加入率 60%以上）</p> <p>㉖スポーツ特別強化校であるアーチェリー部の関東大会（個人）以上出場</p> <p>㉗体力テストによる生徒平均が全項目で都平均値以上</p> <p>㉘保健だよりを毎月1回以上発行</p> <p>㉙学校の教育相談体制の充実 80%以上</p> <p>㉚図書館の利用満足度 65%</p>
5 募集・広報活動・地域貢献	<p>1 募集・広報活動の工夫・改善により、推薦に基づく選抜及び学力検査に基づく選抜（前期・後期）の応募倍率の向上を図る。</p> <p>2 HP等の広報活動を活性化し、学校からの情報発信を積極的に行う。</p> <p>3 開かれた学校（地域密着型教育活動推進校）づくりを推進し、地域から信頼される学校づくりを行う。</p>	<p>(19) 学校説明会・学校見学会を工夫し積極的な取組を行う。町田市をはじめとした地域への効果的な中学校訪問や都立高等学校等合同説明会等への積極的・効果的な参加を通じて、本校の魅力をアピールし、本校の特色を理解し、第一志望とする生徒を確保する。</p> <p>(20) 「やまこう Newsletter（学校だより）」を発行し、ホームページ等を通じて最新の学校の様子を保護者・中学生・地域に発信していく。また学校からのお知らせや緊急時の対応等をタイムリーにホームページ等に掲載する。</p> <p>(21) 地域連携（関係機関や近隣の保育園・小中学校等）やボランティア活動等を通じ、生徒の自主性を養い、コミュニケーション能力や表現力を身に付けさせる。</p>	<p>㉑推薦 2.0 倍、前後期 1.1 倍 特に女子の応募倍率の向上</p> <p>㉒やまこう Newsletter の定期的な発行とホームページ掲載</p> <p>㉓HP の更新回数 500 回以上</p> <p>㉔学校説明会等来校者数 1000 名以上</p> <p>㉕町田市内及び近隣区市の中学校への教員の訪問</p> <p>㉖中学校への出前授業・出前説明会への積極的参加</p> <p>㉗地域密着型教育活動推進校として地域のボランティア活動や地域行事の積極的な参加</p>
6 学校経営・組織体制	<p>1 企画調整会議の機能の活性化及び各種会議・研修会の活性化を図る。</p> <p>2 経営企画室と教員が一体となって教育活動を推進する。</p> <p>3 教育公務員として、高い使命感・倫理観をもって服務規律を遵守し、生徒・保護者・地域から信頼を得る。</p> <p>4 ライフ・ワーク・バランスの推進への取組を促進する。</p> <p>5 創立 40 周年記念行事に向けて、委員会を発足し、準備を進める。</p>	<p>(22) 組織体制として、調整（分掌・学年・経営企画室が協力して意思疎通を図りながら職務遂行する）と協働（教職員一人一人が当事者意識を持ちチームとして動く）を重視し、企画調整会議やその他各種会議を単なる報告会でなく、情報共有、意見聴取、課題解決と新たな取組の場に変えていく。</p> <p>(23) 経営参画ガイドラインに基づき、学校経営を支える企画立案への積極的な取組と教員と経営企画室が一体となって学校経営上の課題をタイムリーに解決する。</p> <p>(24) 適正な予算編成と計画的・効率的な予算執行を実施。施設設備の安全管理・維持及び迅速な修繕を実施し、財産管理を適正に行うことによってリスクマネジメントを強化する。</p> <p>(25) 日常的な点検を怠らず、報告・連絡・相談を徹底する。また研修等を通じて体罰禁止や服務規律に対する意識を向上させる。</p> <p>(26) 計画的な仕事の進行管理により、業務の効率化を徹底し、教職員一人一人のライフ・ワーク・バランスの実現を図る。業務の無駄を省き、整理と縮減・削減、超過勤務時間の削減を推進する。</p> <p>(27) 創立 40 周年記念行事に向けて委員会を発足し、記念式典、生徒による成果発表、記念誌の作成、記念品の検討等関係機関と連携し、委員会を円滑に運営し、着実に進めていく。</p>	<p>㉘各分掌が学校経営計画に基づき、PDCA マネジメント・サイクルを確立するために、各分掌の組織目標を設定し、中間総括及び年度末総括を実施</p> <p>㉙一般需用費の学校経営支援センター利用率 70%以上</p> <p>㉚一般需用費の予算執行率 100%</p> <p>㉛学校徴収金未納者ゼロ人</p> <p>㉜服務事故ゼロ、体罰ゼロ、会計事故ゼロの実施</p> <p>㉝適切な来校者・電話対応で苦情ゼロ</p> <p>㉞教職員の個別の超過勤務時間の削減</p>

